

県民公開講座 「コツコツとやるべきことを」

と き 令和4年11月13日(日) 13:00～15:00

と ころ 山口県総合保健会館 2階「多目的ホール」

【報告：広報委員 石田 健】



令和4年11月13日(日)13時より、県医師会主催で県民公開講座が開催された。朝はあいにくの空模様であったが、午後には風が強かったものの天候は回復した。新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に行った上で、県民の皆様にお越しいただいた。

当日は最初にフォトコンテストの表彰式が開催された。その後、特別講演として2006年のFIFAワールドカップに主軸として活躍され、また、引退前はレノファ山口でチームに貢献された、坪井慶介氏に講演いただいた。



フォトコンテスト表彰式

今回、坪井氏が小学生や中学生でどのように考えていたか、何を学んだか、努力していたかを中心に伝えたいと言われ、演題は「コツコツとやるべきことを」であった。

小学校3年生のころは嫌々サッカーをしていたが、ディフェンダーをやらされ、成功体験を重ねるうちにサッカーにのめり込んでいった。中学生になると、東京都町田市にある強いチームでサッカーができるようになった。しかし、中学2年生の時に岐阜県に転校し、サッカーの環境が整っていない状況であったが、それを理由にあきらめてはいけないこと、今できることを精一杯努力することを学んだことが、その後のサッカー人生の中で大きかったと語られた。

その後、高校と大学での話をされた。

高校は三重県内のサッカーのエリートたちが集まる四日市中央工業高校に進学した。3年生になり、初めて夏のインターハイに出場したが、1回戦で敗退した。残念ながら、高校生活では結果を出すことはできなかった。監督に法政大学への進学を勧められたが合格できず、最終的に福岡大学に進学した。大学時代にはスランプを経験し、21歳になった時に、最終的な判断を自分でして、

言い訳を作らないことが大切だと思った。結果として、4年生の時はプレーに集中できるようになり、その後、プロとして浦和レッズに入団することができた。失敗することから何かを学び、学んだことを成功するまで続けたことに尽きる。この結果、プロサッカー選手として18年間過ごすことができたと言られていた。

続けて、会場からの質問を受けられ、山口県民ではないが山口県で過ごされた時に気づいたことは、との質問に対し、サポーターが温かいこと、そして山口県の食事、魚がおいしいことを話されていた。


当日はワールドカップの開催間近であったので、ワールドカップについての話もされた。どのチームも初戦が大切であり、初戦で勝ち点3が取れるのが理想だが、勝ち点1が取ればよい

と思っている、と述べられた。ワールドカップについて、坪井氏が出場されたドイツ大会で緊張されたか、という質問が会場からあり、前日の夜は違和感なく過ごすことができたが、思い返すとスタジアムに入ってからのは頭が真っ白になりほとんど覚えていない、人生で一番緊張したと話されていたのが印象的だった。

最後に、座長を務められた岡山広報委員が、子どもたちの診療もする中でいろいろな失敗を抱えて相談されたり、不登校なども多かったりするが、今日の坪井氏のお話は子どもたちにも聞かせたい良い話だったと締めくくられた。




フォトコンテスト応募作品展示会場



後継体制は万全ですか？

DtoDは後継者でお悩みの開業医を支援するシステムです。まずご相談ください。



お問い合わせ先

0120-337-613

受付時間 9:00~18:00(平日)

総合メディカル株式会社

www.sogo-medical.co.jp 東証一部(4775)

山口支店 / 山口市小郡高砂町1番8号 MY小郡ビル6階
TEL(083)974-0341 FAX(083)974-0342
本社 / 福岡市中央区天神
■国土交通大臣免許(2)第6343号 ■厚生労働大臣許可番号40-ユ-010064